

令和2年 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子供の居場所作り事業
事業主体 (連絡先)	信州Gプロジェクト 長野県長野市若里7-7-2 オフィスリンク
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	990,510円 (うち支援金: 751,000円)

事業内容

- 令和2年8月8日(土) 10:00~15:00
水てっぽう 150本プレゼント企画
会場→西条神社
- 令和2年9月6日(日) 10:00~16:00
ひょうたんランプ 150個プレゼント企画
会場→だがしやG

だがしやGの無料コーナー設置(テント2張を設置し、家庭で不要になった衣類・学用品などフードドライブなどで地域より、提供して頂いた品を無料コーナーとして開放して家庭で必要な品を活用してもらおう取り組みです)



【水てっぽう写真】

【目標・ねらい】

- ①記憶に残る一日作り
- ②コロナに負けない
- ③人と人の「つながり」
- ④子供たちの笑顔を守る

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

水てっぽう・ひょうたんランプ申込みは、150名×2=300名以上の予約を頂き、家族4名で考えると約1200名の笑顔につながりました。2020年コロナ問題もありながら三密を避けて安全にイベントを開催できました。

□雨・風にも対応できる無料コーナーを設置する事ができ、年間を通して地域サポートする事ができます。
月30~40利用世帯につながっています。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・ コロナ対策を行いながらイベントを中止せず、子供達の笑顔を守るために開催しました。100%、目標達成できました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加者より、「コロナで各イベント・行事がすべて中止の開催して頂き、ありがとうございます」と多くの方から感謝の言葉を頂きました。来年もコロナとうまく関わっていかねばと考えています。今回の経験を生かして感染対策もきちんと行いながら継続していきたいと思っております。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある